

平成28年度決算について

平成28年度決算が、平成29年5月23日開催の理事会で承認・確定されました。
以下、計算書類の内容の概要を説明します。(詳細については、学園ホームページをご覧ください。)

資金収支計算書 平成28年4月1日～平成29年3月31日(単位:円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	5,342,637,000	5,328,855,358	13,781,642
手数料収入	88,448,000	101,271,168	△12,823,168
寄付金収入	134,950,000	132,851,011	2,098,989
補助金収入	722,051,000	716,719,172	5,331,828
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	50,620,000	54,769,419	△4,149,419
受取利息・配当金収入	32,458,000	18,194,908	14,263,092
雑収入	142,339,000	141,953,615	385,385
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	1,064,335,000	1,190,697,100	△126,362,100
その他の収入	220,700,000	11,107,831,759	△10,887,131,759
資金収支調整勘定	△1,186,875,000	△1,222,565,223	35,690,223
前年度繰越支払資金	6,167,189,000	6,167,188,723	
収入の部合計	12,778,852,000	23,737,767,010	△10,958,915,010
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,919,354,000	3,735,456,005	183,897,995
教育研究経費支出	1,317,709,000	1,187,223,661	130,485,339
管理経費支出	651,151,000	572,199,826	78,951,174
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	544,446,000	503,670,845	40,775,155
設備関係支出	174,810,000	151,526,276	23,283,724
資産運用支出	800,000,000	5,137,040,000	△4,337,040,000
その他の支出	182,776,000	6,675,691,691	△6,492,915,691
[予備費]	50,000,000	50,000,000	
資金支出調整勘定	△135,420,000	△105,530,303	△29,889,697
翌年度繰越支払資金	5,274,026,000	5,880,489,009	△606,463,009
支出の部合計	12,778,852,000	23,737,767,010	△10,958,915,010

(資金収支計算書について)

● 資金収支計算書は、事業活動収支計算書と同様、学校法人会計基準によって定められた計算書類のひとつで、一般の企業会計とは異なる学校法人会計固有の計算書類です。
● 資金収支計算書の目的は、第一に、当該会計年度における教育研究活動等の諸活動に対応するすべての資金の収入と支出の内容を明らかにすること、第二に、当該会計年度における資金の収入及び支出の期末を明らかにすることです。

● 平成28年度の収入の部合計は23,737,767,010円、一方、支出の部のうち人件費支出から資金支出調整勘定までの当年度の支出額の合計は、17,857,278,001円でした。その結果、翌年度繰越支払資金は5,880,489,009円となりました。前年度繰越支払資金が6,167,188,723円でしたので、平成28年度決算の支払資金としては、平成27年度末と比べて286,699,714円(約4.65%)の減となりました。

事業活動収支計算書 平成28年4月1日～平成29年3月31日(単位:円)

科目	予算	決算	差異
	学生生徒納付金	5,342,637,000	5,328,855,358
手数料	88,448,000	101,271,168	△12,823,168
寄付金	134,950,000	133,148,011	1,801,989
経常費等補助金	711,317,000	705,985,172	5,331,828
付随事業収入	47,000,000	51,769,419	△4,769,419
雑収入	139,489,000	156,148,411	△16,659,411
教育活動収入計	6,463,841,000	6,477,177,539	△13,336,539
科目	予算	決算	差異
人件費	3,917,827,000	3,809,544,196	108,282,804
教育研究経費	1,994,158,000	1,859,959,446	134,198,554
管理経費	718,431,000	640,066,137	78,364,863
徴収不能額等	0	10,958,008	△10,958,008
教育活動支出計	6,630,416,000	6,320,527,787	309,888,213
教育活動収支差額	△166,575,000	156,649,752	△323,224,752
科目	予算	決算	差異
受取利息・配当金	32,458,000	18,194,908	14,263,092
その他の教育活動外収入	3,620,000	3,000,000	620,000
教育活動外収入計	36,078,000	21,194,908	14,883,092
科目	予算	決算	差異
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	36,078,000	21,194,908	14,883,092
経常収支差額	△130,497,000	177,844,660	△308,341,660
科目	予算	決算	差異
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	11,091,000	14,055,694	△2,964,694
特別収入計	11,091,000	14,055,694	△2,964,694
科目	予算	決算	差異
資産処分差額	2,121,000	7,968,454	△5,847,454
その他の特別支出	10,000	13,416	△3,416
特別支出計	2,131,000	7,981,870	△5,850,870
特別収支差額	8,960,000	6,073,824	2,886,176
[予備費]	50,000,000	50,000,000	
基本金組入前当年度収支差額	△171,537,000	183,918,484	△355,455,484
基本金組入額合計	△604,160,000	△501,589,552	△102,570,448
当年度収支差額	△775,697,000	△317,671,068	△458,025,932
前年度繰越収支差額	△3,623,681,000	△3,623,680,699	△301
基本金取崩額	84,714,000	84,714,000	0
翌年度繰越収支差額	△4,314,664,000	△3,856,637,767	△458,026,233

(事業活動収支計算書について)

● 事業活動収支計算書の目的は、第一に、当該会計年度の活動に対応する事業活動の収入及び支出の内容を明らかにすること、第二に、基本金組入後の均衡の状態を明らかにすることです。
● 事業活動収支計算書は、当該会計年度における収支均衡状態を示し、経営状況を明らかにするものであり、資金の動きがない実質的損益となるもの(減価償却額、現物寄付など)を含みますが、資金の動きがあっても実質的損益とならないもの(施設関係支出、設備関係支出など)は含まれません。
● 基本金は、学校法人会計固有の概念のひとつで、「学校法人が、その諸活動の計画に基づき必要な資産を継続的に保持するために維持すべきもの」とされています。これは、企業会計とは異なり、教育研究活動を継続的・安定的に提供することができるかどうかを示す学校法人会計固有の目的を達成するために要請される概念であると言えます。
● 教育活動収支は、事業活動収入の部では学生生徒等納付金、寄付金、経常費等補助金が予算額を下回り、手数料、付随事業収入、雑収入が予算額を上回ったため、教育活動収入計では13,336,539円増の6,477,177,539円となりました。事業活動支出の部では、人件費、教育研究経費、管理経費がともに予算額を下回りました。また、予算計上していない徴収不能額等は10,958,008円の支出額となり、教育活動支出計では309,888,213円減の6,320,527,787円となりました。これにより教育活動収支差額は、予算額を上回り

156,649,752円の収入超過となりました。また、教育活動外収支は、事業活動収入の部では、受取利息・配当金、その他の教育活動外収入ともに予算額を下回り、14,883,092円減の21,194,908円となりました。事業活動支出の部では借入金等利息、その他の教育活動外支出ともに予算額及び決算額は0円です。これにより教育活動外収支差額は、21,194,908円の収入超過となりました。これにより、経常収支差額は予算額を308,341,660円上回り、177,844,660円の収入超過となりました。
● 特別収入は、事業活動収入の部では施設設備補助金が予算額と同額、過年度修正額は予算額を下回りましたが、現物寄付が予算額を上回ったため、特別収入計は予算額を上回り2,964,694円増の14,055,694円となりました。事業活動支出の部では資産処分差額、過年度修正額が予算額を5,850,870円上回り、7,981,870円となりました。これにより、特別収支差額は、予算額を2,886,176円下回り、6,073,824円の収入超過となりました。なお、予備費50,000,000円は未執行でした。
● 経常収支差額及び特別収支差額ともに収入超過であったため、基本金組入前当年度収支差額(増収収支差額)は合計額183,918,484円の収入超過となりました。一方、基本金組入額は、予算額を102,570,448円下回り、501,589,552円となったことにより、当年度収支差額は317,671,068円の支出超過(赤字)となりました。

貸借対照表 平成29年3月31日現在 (単位:円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	25,967,905,149	25,267,632,051	700,273,098
有形固定資産	16,084,526,539	16,174,549,141	△90,022,602
特定資産	9,858,040,000	9,058,040,000	800,000,000
その他の固定資産	25,338,610	35,042,910	△9,704,300
流動資産	6,702,906,299	7,064,403,733	△361,497,434
資産の部合計	32,670,811,448	32,332,035,784	338,775,664
負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	1,640,542,706	1,580,942,362	59,600,344
流動負債	1,406,018,611	1,310,761,775	95,256,836
負債の部合計	3,046,561,317	2,891,704,137	154,857,180
純資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	33,480,887,898	33,064,012,346	416,875,552
繰越収支差額	△3,856,637,767	△3,623,680,699	△232,957,068
純資産の部合計	29,624,250,131	29,440,331,647	183,918,484
負債及び純資産の部合計	32,670,811,448	32,332,035,784	338,775,664

(貸借対照表について)

● 資産の部において、固定資産のうち、有形固定資産については、施設、設備の取得等が減価償却及び除却額を上回ったことにより、期末残高が90,022,602円減少し、16,084,526,539円となりました。特定資産については、建物償却引当特定資産及び法人維持特定資産への積立により、全体で800,000,000円増加し、9,858,040,000円となりました。その他の固定資産については、減価償却費が9,704,300円減少し、25,338,610円となりました。流動資産については、主に現金預金の減少により、全体で361,497,434円減少し、6,702,906,299円となりました。

● 負債の部は、固定負債のうち、退職給付引当金が59,600,344円増加したことにより、固定負債全体も59,600,344円増加となりました。流動負債のうち前受金が126,324,100円増加するなど、流動負債全体で95,256,836円増加しました。これにより、負債の部の合計は、154,857,180円増加し、3,046,561,317円となりました。
● 純資産の部は、基本金は416,875,552円増加し、33,480,887,898円となりました。また、翌年度繰越収支差額は、事業活動収支計算書における当年度収支差額(△317,671,068円)と基本金取崩額(84,714,000円)の合計額232,957,068円減少し、3,856,637,767円となりました。